

店ではたらく人①-よく行くお店-

名前(

)

月

日

㊦ ふだん、わたしたちはどんなお店に行っているのかを調べよう。

学習活動 1

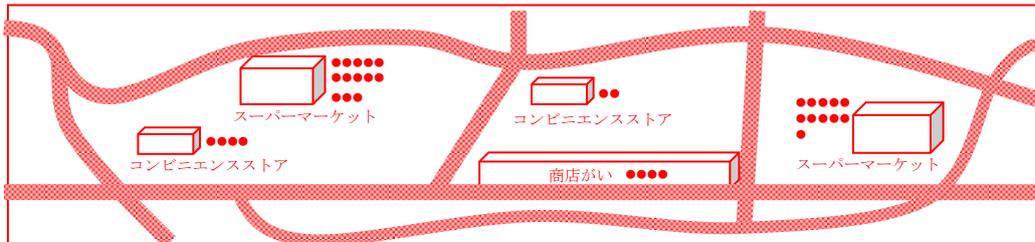
事前に児童に調べさせた買い物調ベを使って、新しい単元に入ることを伝え、今日の学習のめあてを確認します。

みんなのインタビュー調べのけっか

学習活動 2

事前に「買い物調ベ（インタビュー調ベ）」をさせておきます。調ベる事柄は、①どこで買い物をしたか、②どうしてそこで買い物をしたのか、の2点です。①を教師が集計し、校区の地図に書き込んでおいたものを資料として使います。他の方法として、黒板に貼った校区の地図に、児童がシールを貼っていくことも考えられます。児童の目の前で結果が見えてくるので、児童の関心や意欲は高まりますが、個人情報でもあるので、情報の取扱いには保護者の同意や注意が必要です。

《結果の地図例》



- 大きなスーパーマーケット・・・
- せんもん店・・・・・・・・・・
- コンビニエンスストア・・・
- 商店がいの店・・・・・・・・・・

学習活動 2

校区内（近くのお店）だけではなく、郊外のお店によく行くという家庭もあるので、その場合は、左の分類で同じようにシール等を貼っていくと、遠近での比較ができます。この活動後、めあてに立ち戻り、「どんなお店によく行くのかな？」と問いかけることで多くの人が利用しているお店の種類が分かります。本ワークシートはスーパーマーケットを例にしています。学校の実情に合わせてお使いください。

<近くの店に行くわけ>

<遠くのお店まで行くわけ>

学習活動 3

「買い物調ベ」の②そのお店に行く理由についてインタビューした内容を発表させ、その理由を近くの店と遠くのお店に分けて整理します。こうすることで、児童が、お店までの距離で理由を比較できるようになります。さらに、同じ理由や違う理由を探させ、「なぜかな？」と問いかけることで、学習活動 4 の分かることに、見て分かることだけでなく、考えて分かることを書くことができるようになりますと考えます。

けっかから分かること

学習活動 4

学習活動 2、3 を通して整理された資料を基に、分かることを個人で書かせます。複数の情報を関連付けて考えさせるために、お店の種類やお店までの距離、理由の違いなどを視点に、児童に「なぜ〇〇なんだろう。」を問いかけてください。個人では最初は難しいですが、ペアや3、4人のグループで答えを考えさせることで、児童は、情報をつなげたり比べたりする思考力を鍛える場になります。また、分かったことは、自分の言葉で説明する（書く）ように指示することで、表現力も高められると考えます。

㊦

学習活動 5 【評価】 思考・判断・表現 【評価】 関心・意欲・態度

学習のまとめとして、めあてに立ち戻らせ、「ふだんわたしたちは、どんなお店に行っているのか」について書かせます。特に、「〇〇が一番多い」や「△△の理由で」など調べて分かることからまとめさせます。この際、「違うお店じゃいけないの?」「どこでも一緒じゃないの?」と問いかけることで、特徴の要素になる『価格』『品数』『品質』『サービス』などに目を向けさせます。さらに、疑問に思ったことやもっと調べたいことを考えさせ、学習問題をつくります。

《学習問題例》なぜスーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのか。

㊧ 「よく行くお店調ベ」のけっかを進んでかくことができましたか? できた だいたいできた あまりできなかった

けっかから分かったことを自分の言葉で書くことができましたか? できた だいたいできた あまりできなかった

学習活動 6

最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

店ではたらく人②-店ではたらく人-

名前(

)

月

日

☞わたしたちは、いろんな店で買い物をしている。その中でも、スーパーマーケットが一番多いことがわかった。

㊦スーパーマーケットではたらく人について、どのようにべん強をしていくのかを考え、学習計画を立てよう。

学習活動 1

前時の学習のまとめを振り返り、利用が一番多かったスーパーマーケットに店を絞ることを確認し、今日の学習のめあてを確認します。

スーパーマーケットのどんなことをべん強していくか。

○スーパーマーケットの _____ が知りたい。

○スーパーマーケットの _____ は、どうなっているのだろう。

学習活動 2 【評価】 観察・資料活用の技能

学習問題Ⅰ「なぜ、スーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのか。」を解決するために、前時のワークシートの記述、自分の経験、教科書の挿絵などを手掛かりに予想を立てさせます。また、予想を基にスーパーマーケットの何を知ればよいかを考えさせます。

《予想される児童の疑問と予想》

- ・数（品揃え）・・・多いのではないかな。
- ・サービス（特売品）・・・特別に安い品物があるんじゃないかな。
- ・肉や魚（店内加工品）・・・おいしく見えるようにする秘密があるんじゃないかな。
- ・値段・・・他の店より安いんじゃないかな
- ・レジ・・・お客さんが喜ぶサービスがあるんじゃないかな。
- ・ふだんは入れない部屋（事務所、バックヤード、倉庫など）・・・何か秘密があるんじゃないかな。

※それぞれの関心を受け止めながら、学習問題Ⅰに立ち戻らせ、例えば「値段を知りたいんだね。あなたは、値段がどうだと思うの?」「値段が安くなってどうやって分かるの?」などと問い返すことで、人が買い物に行きたくなる工夫があるのではという予想を引き出し、学習問題Ⅰを確定します。

学習問題

なぜ、スーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのか。どんな工夫があるのだろう。

べん強をすすめるには、どうすればいいかな?

学習活動 3 【評価】 関心・意欲・態度

どうすれば学習問題を解決できるのかを考えさせます。社会科の学習以外でも調べることができるように、「いつ」「どこで」「どうやって」など具体的に決めさせます。スーパーマーケットの見学を予定していても、「スーパーマーケットに行くよ」と教師が伝えるのではなく、「実際に行ってみてみたい。」「インタビューをして聞いてみたい。」という児童の自主性、意欲を大切にします。ただし、方法だけが決まって、目的や内容が不明確なままにならないように、「何を見るのか」「なぜ見る必要があるのか」「相手のことは考えなくていいのか」などを問い返し、しっかり見学の計画を立てる必要があることに気付かせ、次時の学習に児童の意識をつなげます。

㊦スーパーマーケットで何をべん強するかを考えることが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

どんな学習問題にするか考えることが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

学習活動 4 最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

店ではたらく人③-スーパーマーケットを見学しよう -名前() 月 日

<学習問題>
なぜスーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのか？
どことなくふうがあるのでしょ？

㊦ スーパーマーケットの見学で見てくるところを考えよう。
学習活動 1
前時の学習を振り返り、学習問題 I と学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

<見つけたいくふう> <見てくるところ> <くふうのよそう>

やすい	学習活動 2 【評価】 思考・判断・表現 前時の 学習活動 2 での児童の疑問や予想を参考にして、調べる視点として「安さ」「品揃え」「新鮮さ」「便利さ」「店の外」などをつくります。 調べる視点ができたら、視点に沿って「見てくるところ」「工夫のよそう」を記述させることで、見学を具体的にイメージさせ、見学の計画を立てます。 《見学の計画例》		
	見付けたいくふう（視点）	見てくるところ	くふうのよそう
品ぞろえ	やすい（安さ）	看板（のぼり旗） お店のチラシ 品物の値札	安さをアピールする 値段の安い商品のお知らせ する
	品ぞろえ（品数）	コーナーの看板 お総菜やお弁当 お菓子の種類	種類を増やす
	しんせん（新鮮さ）	ねふだ（〇〇産）	国産（日本でとれたもの）を 多くして安全をアピール
しんせん	べんりさ（サービス）	ポイントカード レジ 商品の置き方 氷コーナー	ポイントを貯めるとお客さ んが得をする。 お客さんが選びやすくする お客さんが喜ぶ
	店の外（施設）	ゲームコーナー 駐車場 自動ドア	買い物の他の楽しみがある 駐車場を広くしている たくさん買っても大丈夫
べんりさ	見てくるところを決めるだけでなく、どんな工夫なのかを予想させておくことで、予想を確認するという見学の目的をもたせます。見学先で、児童が「やっぱりそうだ！」「あれ？予想と違った。なるほど！そういうことだったのか」などと発言する姿をねらいます。また、見るだけでは分からない場合もあるので、インタビューの仕方についても指導しておきます。 教師が意識しておきたいことは、スーパーマーケットの見学が「活動あって学びなし」にならないようにすることです。そのために、以下の3点に留意して見学の計画を立てさせます。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べる視点（見付けたいくふう）を児童の納得の上で決めること ・くふうの予想を確かめられるところが他にないかを問いかけること ・予想が確かめられるか、見学先と事前に打ち合わせておくこと 		
店の外	学習活動 3 調べる視点（見付けたいくふう）ごとに、見てくるところやくふうの予想を発表させながら、 学習活動 2 の表のように、板書に整理することで、学級全体で見学の計画をまとめます。その後、本時のまとめとして、見学で頑張りたいことをワークシートに書かせることで、見学の目的や見学への見通しがもてたかどうかを見取ります。 意図的に数名の児童を指名し、発表させ、称賛することで見学への意欲を高めます。		

㊦ **学習活動 4**
最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

㊦ スーパーマーケットの見学で見てくるところを考えることが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった
スーパーマーケットのくふうのよそうをかんがえることが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

㊦ 見学して分かったくふうをまとめよう。

学習活動 1

学習問題 I と学習計画を確認した上で、見学を振り返り、今日の学習のめあてを確認します。

<見つけたくふう>

<何のためのくふうなのか>

やさしい	<p>学習活動 2 【評価】 観察・資料活用の技能</p> <p>見学を通して、学んだことを発表させ、調べる視点ごとに整理することで、見学して分かったことをまとめます。</p> <p><見つけたくふう>を記述させます。</p> <p>① 見学の計画を立てる際に考えさせた「くふうのよそう」が確かめられたかを問いかけ、確かめた結果を視点ごとに書かせます。また、新しく見つけた工夫も付け加えて書かせます。その際、新しく見つけた工夫については、赤鉛筆で書かせるなど色を変えて書かせることで、予想が確かめられたかどうか、新しい発見ができたかどうか分かり、見学による学びを実感させることができます。</p> <p>② 見つけた工夫について、★発表の仕方を使って、グループや学級全体で発表させ、板書や模造紙などにまとめます。</p> <p><何のためのくふうなのか>を考えさせ、記述させます。</p> <p>見つけた工夫について、何のために工夫していたのかを考えさせることで、販売者の工夫や努力が消費者の願いと結び付いていることを理解できるようにします。具体的には、「お客さんが品物を見つけやすいように」「お客さんが安心して買ってくれるように」などが記述できるようにします。その後、学級全体で発表させ、板書等でまとめ、全ての調べる視点に共通するのは何かを問いかけることで、販売者の工夫が消費者の願いに結び付いていることに気付かせます。</p>	
品そろえ		
しんせん		
べんりさ	<p>学習活動 3 【評価】 知識・理解</p> <p>見学のまとめとして、見学して分かったことを、「お客さん」をキーワードにしてまとめて書かせます。</p> <p>《記述例》</p> <p>スーパーマーケットでは、お客さんが来やすいことや買い物しやすいことを考えて、安さや便利さなどのくふうをしていることが分かりました。 など</p> <p>※児童が「いろいろなくふう」と表現することがありますが、「たとえば〇〇など」「〇〇や△△など」のように、「いろいろな」を使わないように具体的に見つけた工夫と置き換えて表現させるように指導します。これにより、事実を根拠にした表現ができるようになり、児童の表現力を高められると考えます。</p>	
店の外		

★発表の仕方→「わたしは、『しんせん』を見つけました。それは、〇〇です。」

㊧ 見学して分かったことを、「お客さん」という言葉を使って書かせます。

㊨ 見学で見てきたことを表に書くことが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

学習活動 4

最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

店ではたらく人⑤-もっと調べてみよう-

名前(

) 月 日

㊦ 見学では分からなかったくふうについて、インターネットを使って調べよう。

学習活動 1

学習問題 I と学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

<インターネットを使って見つけたくふう>

<何のくふうか>

学習活動 2【評価】 観察・資料活用の技能

見学先のホームページから、見学では見付けられない、販売者の工夫を調べさせます。また、調べる視点「安さ」「新鮮さ」「便利さ」などとの関連を考えさせ、〈何のくふうか〉に書かせます。

※ホームページは、大人向けにつくられていることから、個人での活動が難しいことが予想されますので、児童の実態に合わせて、グループでの活動にしたり、学級全体でホームページを見ながら工夫を見付けさせたりする活動にしたりすることが考えられます。

見学先のホームページがない場合は、店のチラシを使って調べさせることも考えられます。

学習活動 3【評価】 知識・理解

今日の学習のまとめとして、ホームページで調べて分かったことを、前時のまとめで使った「お客さん」をキーワードにしてまとめて書かせます。

《記述例》

スーパーマーケットでは、お店に来られないお年よりや仕事が忙しい人などのお客さんが買い物できるように品物を家までとどける宅配サービスをしたり、夜遅くまでお店を開けていたりしてお客さんにとって便利になるくふうをしていることが分かりました。 など

※児童が「いろいろなくふう」と表現することがありますが、「たとえば〇〇など」「〇〇や△△など」のように、「いろいろな」を使わないように具体的に見付けた工夫と置き換えて表現させるように指導します。これにより、事実を根拠にした表現ができるようになり、児童の表現力を高められると考えます。

㊦ (分かったこと)

㊦ インターネットでくふうを見つけることが・・・できた だいたいできた あまりできなかった

㊦ 学習活動 4

最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

店ではたらく人⑥-品物はどこから-

名前(

) 月 日

㊦ 品物はどこから運ばれてくるのかを調べよう。

学習活動 1

前時の学習を振り返り、学習問題 I と学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

チラシを使って、産地（さんち）を調べよう！ ○○県産 外国産もあるよ！

<やさい> <産地（さんち）> <くだもの> <産地（さんち）>

--	--	--	--

学習活動 2 【評価】 観察・資料活用の技能

家庭での買い物調べや見学の際に児童がもった疑問を基に、「○○産」について取り上げて調べさせることで、販売者と生産者とのつながりについて理解させるとともに、消費者の願いと関連付けて考えさせる布石とします。

- ① 家庭での買い物調べの際に、店を選ぶ理由として「国産が多いから」「○○産の新鮮な野菜が売ってあるから」などの意見を取り上げたり、見学の時の写真から、値札に書かれていた○○産などの表示を見付けさせたりして、「○○産」が学習問題 I の解決につながることを確認します。
- ② 店のチラシを使って「○○産」が書かれている品物を探させます。特に、野菜や魚、肉などの生鮮食料品に書かれていることから、〈やさい〉〈くだもの〉〈にく〉〈魚〉に分けて、品物と産地を調べさせます。
- ③ 「○○産」の○○が都道府県名や地名であることに気付かせ、産地が、品物がとれたり、つくられたりした場所であることを押さえた上で、「○○県ってどこにあるの?」「お店の近くかな?」などと問いかけ、産地に関心をもたせ、調べる活動へと誘うようにします。
- ④ 次のワークシートを配布し、調べさせた産地を、日本地図に書きこませて確認します。これにより、品物が国内外の様々なところから運ばれてきていることに気付かせ、〈産地調べでわかったこと〉に書かせます。

--	--	--	--

学習活動 3 【評価】 観察・資料活用の技能

次頁のワークシート（県名入りの日本地図）を配布し、調べさせた産地を、日本地図に書き込ませて確認します。色を塗らせたり、シールを貼らせたりして、その都道府県から自分たちの市や町に矢印を書き込ませると日本全国から集まってきていることが分かりやすいと思います。

その後、〈産地調べでわかったこと〉に書かせます。

《記述例》

- ・品物が北海道や青森県など遠くの県から運ばれてきている。
- ・品物の中にはモーリタニアやチリなど外国から運ばれてきているものもある。 など

<産地調べで分かったこと>

○

○

学習活動 4

本時のめあて「品物はどこから運ばれてくるのか調べよう」についてまとめて記述させます。その際、「これは、スーパーマーケットのどんな工夫になるのかな?」と問いかけ、「品揃え」や「安さ」など調べる視点（見付けたいくふう）を基に考えさせます。また、児童が選んだ調べる視点をキーワードにさせ、キーワードを使って記述させることで、児童の表現力を高めることができると考えます。

《記述例》

品物は日本全国や外国から運ばれてきていました。これは、お客さんが欲しい品物をそろえるためのスーパーマーケットの品揃えのくふうだと思えます。 など

㊦ チラシを使って、産地（さんち）を調べることが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

自分の言葉で「まとめ」を書くことが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

学習活動 5

最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

店ではたらく人⑥-品物はどこから-

名前（

） 月 日

調べた表を見ながら、出てきた産地（さんち）の都道府県に色をぬりましょう。

前頁のワークシートの学習活動3で使用します。

日本地図の白地図を貼ってください。

都道府県名が入っている白地図がお勧めです。

（著作権に配慮して、掲載していません。）

店ではたらく人⑦-まちの人たちとともに-

名前(

)

月

日

㊦ スーパーマーケットは品物を売ることのほかにもどんなことをしているのだろう。

学習活動 1

見学を振り返り、見学先で児童が見付けたマイバッグ運動やリサイクルボックス、パーキングパーミットのマークなどを手掛かりに、学習問題 I と学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

スーパーマーケットのホームページから、品物を売ることのほかにもしていることを見つけよう！

① かんきょうをまもるためにしていること

学習活動 2-1

見学を通して、工夫を見付けさせた際に、品物を売ること以外での工夫を見付けることが予想されます。これらについては、お客さんに信用してもらうことや人の役に立とうとする企業努力などが含まれています。しかし、児童にとっては、どんな工夫なのかを理解することが難しいと考えられますので、品物を売る工夫について考え、理解させた後に、取り上げて指導します。見学でのインタビューや教科書の記述を手掛かりにさせると、「環境を守る」ことと「誰もが利用しやすいためにしている」ことなどが書かれていますので、それがどのようなことなのかを考えさせるようにします。

スーパーマーケットのホームページや教科書等で調べさせます。

《① 環境を守るためにしていることの例》

- ・電気自動車の充電ステーション…空気を汚さない自動車を応援するため
- ・地域のそうじ（清掃活動）、木や花を植える（植樹活動）…自然を守るため、地域をきれいにするため
- ・マイバッグ運動（ノーレジ袋）やレジ袋の有料化…ごみをへらすため
- ・牛乳パックやトレイ、食用油、ビン、缶などの回収…リサイクル（資源を守るため）

② だれもが（子ども・お年より・しょうがいのある人など）利用しやすいようにするためにしていること

学習活動 2-2

《② 誰もが利用しやすいようにするためにしていることの例》

- ・パーキングパーミット…障がいのある人やおなかに赤ちゃんがいる人、けがをしている人、お年寄りなど歩くことが大変な人のため
 - ・補助犬（盲導犬や介助犬など）…目の不自由な人や障がいがある人でも買い物ができるようにするため
 - ・タクシー専用電話…タクシーを使って買い物に行き来する人のため
- 他にも、障害者用トイレやスロープ、入り口のアナウンス、子ども 110 番の店のステッカーなども考えられます。

<わかったこと>

学習活動 3

調べて分かったことをまとめ、確認します。

《記述例》

- ・環境を守るために、リサイクルに取り組んでいることが分かった。

㊦ 学習活動 4 【評価】思考・判断・表現

学習のまとめを書かせます。その際に、「スーパーマーケット（お店）は、なぜ、このようなことをするのか？」「これは、工夫なのか？」と問いかけることで、地域貢献の意味を考えさせます。児童の反応として、「地域の誰もが喜んでくれることをしている」「人の役に立つことをしている」などが考えられます。このような児童の発言からキーワードを挙げまとめさせます。

《記述例》

スーパーマーケットは、環境を守ることをして、人のために役立つことで、地域の人が喜んでくれることもしていた。スーパーマーケットを好きになってくれるようにしているくふうかなと思う。 など

⑤ インターネットで品物を売ることがいかにしていることを見つけることが・・・できた まあまあできた あまりできなかった
分かったことを自分の言葉で書くことが・・・できた まあまあできた あまひできなかった

学習活動 5

最後に、形成的評価として3件法で、今日の学習を振り返らせます。

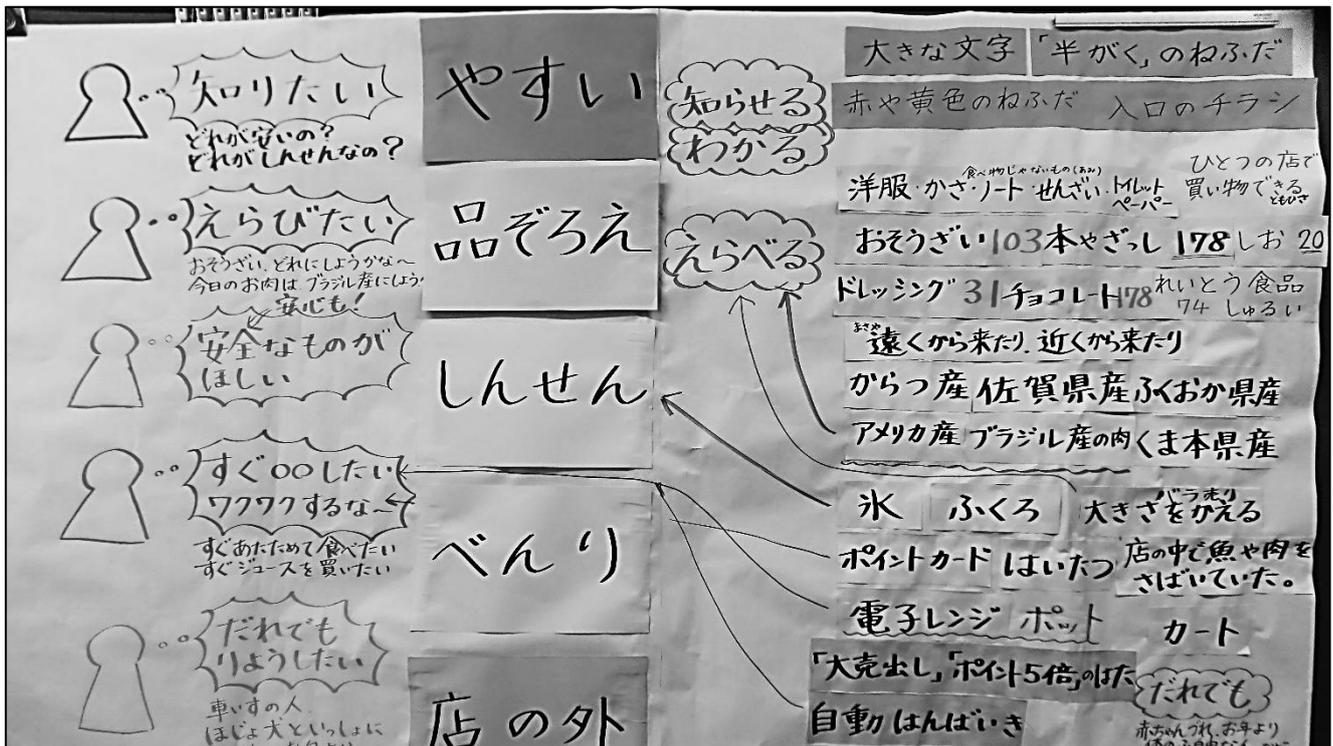
⑧まとめたことから、学習問題Ⅰの答えを考えよう。

学習活動 1

学習問題Ⅰと学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

学習問題

なぜスーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのでしょうか。どんなくふうがあるのでしょうか。



学習活動 2

調べて分かったことを上の板書のように、お客さんの願い（左）とお店のくふう（右）で整理します。その際、視点ごとに色分けし、「お客さん」「お店」を使って説明、発表をさせることで、お客さんの願いとお店の工夫をつなげて考えさせます。（関連付け）

<まとめ>

スーパーマーケットには、

学習活動 2

学習問題Ⅰ「なぜ、スーパーマーケットにたくさんの人が買い物に行くのでしょうか。どんなくふうがあるのでしょうか。」の答えを考えさせて記述させます。

《記述例》

スーパーマーケットは、お客さんの願いに応え、安くて新鮮な品物をたくさんそろえ、便利に買い物ができるようにくふうしているからたくさんの人が買い物に行く。
 など

⑨学習問題の答えを書くことが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった

学習活動 3

学習問題Ⅰの解決について、形成的評価として3件法で、学習を振り返らせます。

店ではたらく人⑧-学習問題Ⅰのまとめ-

名前(

)

月

日

<店長さんの思い>

☆地いきのおきゃくさんにこれからも、安心・安全なものを売りたい。

☆よろこんでもらいたい。

☆もっとたくさんのおきゃくさんに来てほしい!!!

これからもっとどうすれば安心・安全になるの？これからもっとどうすればおきゃくさんがたくさん来てよろこんでもらえるの？

わたしたちの学級が考えた意見（どのくふうをもっとがんばるといいのかな？）

学習活動4 【評価】思考・判断・表現

学習問題Ⅰのまとめの発表を、見学先の店長さんに聞いてもらったり、ビデオで伝えたりする活動を組みます。発表に対するコメントをもらうことで、学習への充実感を感じさせます。また、「お客さんの意見を大事したい」や「お客さんにもっと喜んでほしいと思っている」などのコメントを基に、自分たちに何か応援することができないかを考えさせます。学習問題Ⅱをつくります。

《学習問題Ⅱの設定例》

もっとお客さんが増えるように、「調べたスーパーマーケット」は「安さ」と「新鮮さ」のどちらを大切にしたい方がよいだろうか。

☆実践事例では、お客さんを増やすために、学習したお店のくふう「安さ」「品揃え」「新鮮さ」「便利さ」「施設（店の外）」の中で工夫できそうなものはないかを考えさせました。そして、家庭でのインタビューでお店を選ぶ理由を尋ねたときのことを振り返らせ、「安さ」と「新鮮さ」で意見が分かれことから、店長さんのコメント「お客さんに安全・安心を」を基に、どちらをより大切にすることを考えることにしました。

他のスーパーマーケットと比較させ、スーパーマーケット〇〇は「安さ」を売りにしていることから、「見学したスーパーマーケット」は、何を大切にすべきか考えさせるという方法も考えられます。

※注意したいのは、自分の生活を支え、結び付いていることから迫りたいということです。切実感を重視する余り、使命感にならないように気を付ける必要があります。

学習活動5

《学習問題Ⅱの設定例》

もっとお客さんが増えるように、「調べたスーパーマーケット」は「安さ」と「新鮮さ」のどちらを大切にしたい方がよいだろうか。

学習問題Ⅱについて、現時点での自分の考えをもたせます。「もっと安く」と「もっと新鮮に」で優先させる方を選ばせ、その理由を書かせます。

学習活動6

最後に、意見が分かれるように意図的に数名の児童に発表させ、「必要な情報は？」「何をもとにして比べているの？」などを問ひかけ、学習問題Ⅱについて調べないといけないことやこれから自分の考えを深めていく学習になることを確認し、そのために必要な情報を考えさせて、次時の学習につなげます。

店ではたらく人⑨-もっと^{やす}く、もっと^{しん}新せんに-

名前() 月 日

㊦ お家の人に「もっと^{やす}い」と「もっと^{しん}新せん」のどちらがよいのかをインタビューしよう。

課外活動（家庭でのインタビュー活動）

学習問題Ⅱを確認した上で、家庭学習として、インタビューさせます。

これまでの自分の考え→もっと（ ^{やす}安く ・ ^{しん}新せんに ）

お家の人にインタビューしてみよう。

<聞くこと>

スーパーマーケットに今よりもっとおきゃくさんが来るようにするためには、どちらを先に取り組みたいと思いますか？

- 1, 安心・安全に買い物してもらうために、〇〇産（〇〇さん）や佐賀県産（さがけんさん）、国産（こくさん）の商品をたくさんおく。
- 2, 今のねだんよりもっとやすくする。

もっとやすく	もっとしんせんに
<p>注意すること 一人ではなく、より多くの人にインタビューさせます。（もちろん一人でも構いません） 意見がわれたときは、それぞれの意見を聞き、どちらも書いて来るようにさせます。</p>	

インタビューのきっかけを見て、今の自分の考えを書きましょう。

お家の人意見が、自分の意見と同じで、理由を強化できたり、自分の意見と違って、意見が変わったりすることが考えられます。「同じだった場合は、理由を増やすことができるようにしよう。違っていた場合は、お家の人言ったからではなく、どうしてそう思うのかをしっかりと聞いて違う理由を知ろう」と声を掛け、理由が大事だということを確認して、インタビュー活動に臨ませます。

店ではたらく人⑩-よい点と問題点を考えよう-

名前() 月 日

㊦ 学習問題Ⅱについて、自分の考えを決めるために、しりょうを使って調べて考えよう。

学習活動 1

学習問題Ⅱと学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

もっとやすく

よい点(^o^)	問題点(>_<)
<p>学習活動 2</p> <p>教師が準備した資料や児童自身がインタビュー活動してきた「店ではたらく人⑨」のワークシート、児童自身が集めてきた資料などを基に、「もっとやすく」を支持する場合の良い点と問題点を考えさせます。 《教師が準備する資料例》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="175 667 758 936" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>店をえらんだ理由アンケート結果（口人）</p> <p>家に近い○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>安い○○○○○○○○○○○○</p> <p>ポイントが付く○○○○○○○○○</p> <p>品ぞろえ○○○○○</p> <p>新せん○○○</p> <p>決まってない○○○</p> </div> <div data-bbox="782 667 1364 936" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>野菜の安さのひみつは、外国産！</p> <p>外国では、日本よりも大きな田畑で、大きな機械を使って一度に大量の野菜をつくります。だから、安いのです。</p> <p>でも、「のうやく」という「くすり」をたくさん使っていることがあるので、体によくないことがあります。</p> </div> </div> <p>町でとられたアンケート結果 外国産野菜が安い理由（図書室の本「○○」から）</p> <p>他にも、子ども新聞の記事や健康食品のチラシなどに載っているグラフなどを参考にしてください。 ※気を付けることは、情報には言いたいことを誇張したものやウソが含まれていることです。 しっかり吟味して資料化します。</p> <p>次に、「もっとしんせんに」を支持する場合の良い点と問題点を考えさせます。 考えられる資料には、地産地消を紹介するチラシや地域でとれる作物の地図などが考えられます。</p> <p>※どれかに偏らないように、資料を準備します。</p>	
<p><自分の意見></p>	

学習活動 3 【評価】 思考・判断・表現

「もっとやすく」「もっとしんせんに」のそれぞれの良い点と問題点を調べ、整理した表を基に、自分が支持する方（先にした方がいいと思う方）を個人で決めさせ、その理由を書かせます。その際に、根拠を明らかにさせるために、持っている資料のどれをどう見たかを書かせることで表現力を高められると考えます。

《記述例》

わたしは、もっと（しんせんに）を先にした方がいいと思います。そのわけは、地産地消のチラシに、地いきでとれたものは、しんせんでえいようがある。だからおいしい。と書いてあって、外国産野菜が安い理由「安い外国産」は体によくないことがあると書いてあったので、体によいものを買えることを大切にしようと思ったからです。

㊦ 「もっとやすく」と「もっとしんせんに」のよい点と問題点が・・・わかった だいたいわかった あまりわからなかった

学習活動 4

学習問題Ⅰの解決について、形成的評価として3件法で、学習を振り返らせます。

店ではたらく人⑩-とうろん会の準備をしよう -

名前() 月 日

㊦ とうろん会に向けて、自分の考えを決めよう。

学習活動 1

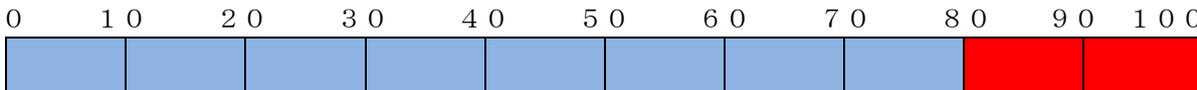
学習問題Ⅱと学習計画を確認した上で、今日の学習のめあてを確認します。

<これまで調べたこと>

- ①見学や店長さんの話
- ②お家の人へのインタビュー
- ③よい点と問題点

今の気持ちは？

もっと安く



もっと新鮮に

学習活動 2

これまで学習したことや新しく調べたことを使って、今の気持ちを色分けさせます。自分の気持ちを100として、「もっとやすく」と「もっと新鮮に」が合わせて100になるように色を塗らせます。たとえば、「もっと安く」を青色、「もっと新鮮に」を赤色というようにすると視覚化できます。

もっと^{やす}くを (80) にしたわけは、

もっと^{しん}せん^{しん}にを (20) にしたわけは、

学習活動 3

それぞれを比べながら考えられるように、どちらかだけの理由を書かせるのではなく、100をどうしてその割合で分けたかを考えさせ、記述させます。そうすることで、自分の考えに固執し、違う立場の考えを聞かないということがないようにします。また、どちらの立場にも身を置いて考えることができ、考えが深まると考えます。

地いきの人によろこんでもらうために^{あんしん}・^{あんぜん}・^{しょうひん}安全な商品をそろえたい
今よりたくさんのお客^{きやく}さんに来てほしい

<とうろん会での自分の意見>

わたしは、もっと (やすく ・ しんせん) を先に取り組む方がいいと思います。わけは、

学習活動 4【評価】思考・判断・表現

討論会に向けて自分の考えとその理由を書きます。書かせるポイントとして、これまで学習したことや資料から分かったことを詳しく言うこと（根拠）、自分がそれをどう思ったのかを言うこと（理由付け）の2点を書くように指導します。

次時の学習活動 1 【評価】関心・意欲・態度

次時に討論会をします。実践事例では、保護者にも案内を出し、保護者も交えて行いました。3年生は、まだ討論など経験が浅いので、教師がファシリテーターを務めました。児童の実態に合わせて討論会の形態（ペア、グループ、学級全体）を決めましょう。また、勝ち負けは決めません。あくまで、自分の考えを深める、考えたことを表現する力を高めることが目的です。

店ではたらく人⑫-とうろん会を終えて-

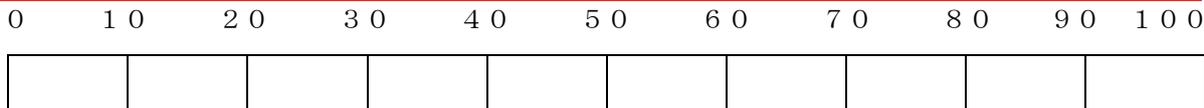
名前() 月 日

学習活動 2

討論会を終えての自分の考えを下の図に可視化し、整理させます。書き方は前時と同様です。気を付けることは、「考えが変わったと思うから」など考えが変わることを望まないでください。考えが深まるのは、変わるのではなく、多くのことを考慮したことだと考えます。

今

もっと安く



もっと新し

<友だちの意見のよかったところ>

【書き方のれい】(なっとくした意見の書き方)

- ・〇〇さんの△△という意見から、もっと安くを先にした方がよいという気持ちが強くなりました。
- ・「もっとしんせんに」に、たくさんの人が〇〇という意見を出していたので、わたしも〇〇がいいと思います。

学習活動 3

参考になった友達の意見を記述させます。「なるほどと思った考えはない?」「自分の意見を応援していた友達の考えはない?」「自分の考えを変えさせたのは誰の考え?」など問いかけて、討論会を振り返らせます。

<とうろん会後の自分の意見>

見学から、店長さんの話から、インタビューのけっかから、しりょう〇から考えて、とうろん会での意見から→→→自分が〇〇と考えた理由をはっきりと書こう!

スーパーマーケットは、() を先に取り組めばよいと思います。わけは、

学習活動 4 【評価】思考・判断・表現

討論会後の自分の考えをまとめます。「これを店長さんに読んでもらおう」と声を掛け、これまでの学習を総合して書かせます。気を付けることは、以下の3点です。

- ・討論会を経て、最初の考えと変わらなくても変わってもよいこと、変わることは悪いことではないことを必ず伝えます。
- ・相手意識をもって書かせるために、「資料1に〇〇と書いてありました」ではなく、「〇月〇日の〇〇新聞の記事『□□』に〇〇と書いてありました」と具体的に書かせます。
- ・理由は、〇〇と書いてあったから、私は「△△だと思っている、考えている」など理由付けすることをさせます。(主張、事実、理由付けを意識させます。)

学習活動 5

最後に討論会について、形成的評価として3件法で、学習を振り返らせます。

- ⑫今日のとうろん会で、自分の意見を発表することが・・・ できた まあまあできた あまりできなかった
 友だちなどの意見を聞いて、自分の考えが・・・ かわった あまりかわらなかった まったくかわらなかった